

隠岐神社は新たな活動を始めます。

隠岐神社では、神社と地域の歴史、年中行事や人生儀礼などについて、より多くの方に関心を持っていただくために、今まで以上に人が集まる神社を目指した活動を始めます。

◆紙芝居「後鳥羽天皇さま」の上演会

御創建七十年を機に、後鳥羽天皇の御事蹟と隠岐神社の由緒を紹介する紙芝居をボランティアの方の協力を得て作成しました。これまで、慶照保育園と産業文化祭で



上演会を行いました。皆さまの職場や学校、会合、地区の集まりなどでご覧になりませんか？

◆隠岐神社の広報活動への参加者募集

隠岐神社では、御祭神と神社の由緒、神社と地域の歴史・文化についての情報を発信してゆくために、ホームページの作成を検討しています。アイデアをお持ちの方に、隠岐神社の写真やイラストを描いてみたい方、神主さんとお話をしてみたいという方。ホームページの作りに参加してみませんか？

※村尾禰宜までご連絡下さい。

新任神職の紹介

禰宜 村尾 茂樹

平成二十一年四月一日付で神社本庁より転任。本庁では教化部、渉外部に勤務。現在は宇受賀命神社神職の他、島根県神社庁非常勤理事、講師候補者、島前支部理事を兼務。昭和四十五年生まれ。宇受賀の代宮家の長男。

隠岐神社奉賛会

特別会員募集のお知らせ

隠岐神社のお祭り、活動をさらに充実したものにするため、奉賛会では特別会員を募集しています。現在、町内外合わせて約一〇〇名の会員があり、隠岐神社の御神徳の紹介などにも努めていただいています。会費は三千円です。皆さまのご加入を心よりお待ちしております。

詳細は、隠岐神社奉賛会または隠岐神社までお問い合わせください。（電話 二一〇四六四）

編集後記

◆明けましておめでとうございます。三が日にはあいにくのお天気でしたが、たくさんの方にお参りいただきました。ありがとうございました。

◆神社のお正月準備は、清掃、お飾り、授与品の準備など多岐にわたります。そんな折、東京の会社から役場の産業創出課に出向している若者が、新年の準備の手伝いを申し出てくれました。また、午前零時のお参りにあわせて、地元有志の方が祈禱受付とかがり火たきをしてくれました。紙面をかりまして御礼申し上げます。

◆昨年十二月九日、NHK島根放送局のテレビ電話のコーナーに村尾禰宜が出演して、隠岐神社の活動をレポートしました。

◆昨年より発行した広報ですが、思い切った内容とレイアウトを変更してみました。みなさまの感想をお待ちしております。



回 覧

『隠岐神社社報』

第3号

隠岐神社の祭典、行事案内

- 1月 1日 歳旦祭
神札・守札御霊入の儀
- 2月 4日 月次祭
神札・守札御霊入の儀
- 3月 4日 月次祭
神札・守札御霊入の儀



発行者 隠岐神社社務所

〒684-0403

島根県隠岐郡海士町海士 電話 08514-2-0464

平成二十二年にあたり

隠岐神社宮司 村尾 周

明けましておめでとうございませす。

元旦のお祭りでは、新しい年を迎えられたことを御祭神に感謝するとともに、皇室の弥栄と海士町の発展をお祈り申し上げたところでございます。

旧年中は、隠岐神社の御創建七十年の奉祝事業について、町並びに崇敬者の皆様にご協力をお願いしましたこと、厚く御礼申し上げます。恒例の子供相撲大会、食の感謝祭の他、記念の式年大祭と御旅、平成の歌会、薪能 隠岐の院もあり、多くの方が境内に集いました。ほんとうに賑やかな年であったと存じます。

後鳥羽天皇と海士町の歴史的な関わりは、町にとってこの上ない

財産であります。隠岐神社はこの財産を預かっているとありますが、次なる御創建八十年、九十年そして百年の佳節に向けて神社の護持を考える時、若い世代の理解と協力がさらに必要になることは言うまでもありません。

そこで、昨年よりこの広報紙を発行し、皆さまに神社のお祭りや諸行事をお伝えしているところであります。また、他の神社の事例を参考にしながら、紙芝居「後鳥



羽天皇さま」も作成してみました。

神社を護つてゆくためには、御祭神への感謝と町の発展を祈るお祭りの厳修に加え、一人でも多くの方が神社に関心を持つよう、神社の由緒と今日的な役割をわかりやすく伝えて行くことが欠かせません。隠岐神社では、職員を定期的に神職研修に参加させるなどして、より親しまれる神社とするための研究を進めております。皆さまも、神社について「こんなことを知りたい」と思うことがあります。もししたら、どうぞ、お気軽に隠岐神社までお尋ねください。皆さまの声を貴重な資料として、活動に反映させていきたいと考えております。

御祭神 後鳥羽天皇の御神徳の下、皆さまにとって稔り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

(平成二十二年元旦)

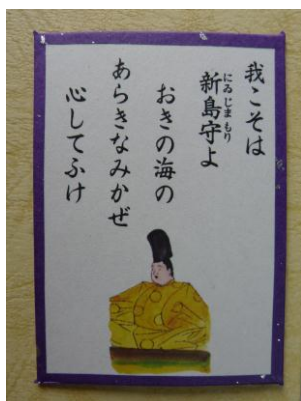
シリーズ 隱岐神社の由緒①

※御祭神 後鳥羽天皇の御事蹟と隱岐神社の御創建、そして神社の今日の役割について連載してまいります

後鳥羽天皇の即位

歴代天皇のもっとも大切なおつとめは、御殿において「日本が平和で、国民が安心して暮らせませよように」と神さまにお祈りすることです。

平安時代の末、終結に向かう源平合戦に際して、安徳天皇は平氏一門とともに京都から山口県にお遷りになり、この祭りが続けられなくなる事態が起きました。



そこで、京都で院政を行っておられた後白河上皇は、寿永二年(一一八三)に安徳天皇の弟で第四皇子を即位(そくい)させることにしました。当時四歳であったこの皇子が、後鳥羽天皇です。

これにより、神殿の祭祀は継続できたのですが、安徳天皇が皇位と一体である三種の神器をお持ちであったため、後鳥羽天皇は歴代で唯一、即位の際には三種の神器を譲りうけておられなかったことになりました。

このような皇位の混乱期や武士の衝突があったため、京の都をはじめ各都市が荒廃していたと推測されます。後鳥羽天皇が建久九年(一一九八)に上皇になられた後、日本の文化・芸術・芸能に強い関心を示されたのは、御自らが積極的に活動されることで、荒廃からの復興を目指したいとの思いがあったからではないでしょうか。

(つづく)

神社界の活動

皇室をつまむ活動

平成二十一年は、天皇陛下御即位二十年、御結婚五十年の佳節でした。昨年四月二十六日には、出雲市において、島根県の神社界も参加し、県選出の国会議員(当時)、県知事、各市長、有志県民による奉祝式典が行われました。また十一月十二日には、東京において政府主催の記念式典と、奉祝議員連盟と民間奉祝委員会との共同で奉祝国民祭典が開催されました。

隱岐神社も歴代天皇をおまつりする神社として、皇室を親しく、大切に思う気持ちをもっていただくための活動を今後も進めます。季刊誌『皇室』の購読受付も行っています。



地域の神社をまわる活動

全国には約八〇、〇〇〇社の神社があります(神社本庁包括下)。そのほとんどは、地区の氏神様です。地区の少子高齢化、神社の行事に無関心な方が増えたことから、かつての祭りや賑わいを維持してゆくことが困難な神社が増えています。そこで神社本庁では、昨年七月、宇受賀の宇受賀命神社(村尾宮司)を活性化のモデル神社に指定しました。ご承知の方も多いと思いますが、例祭(夏祭り)には、総代と子供会が主導して巫女舞と子供神楽が奉納されたいへん賑やかでした。神社を賑やかにするためには、町や地区、学校、各種団体、そして町民のみなさまの理解と協力が欠かせません。ともに、海士町と神社を盛り上げて行きたいと思えます。



神社
Q & A

Q 神社ってどんなところなの？

A 神社は各地の歴史や文化と深い関わりのある神さまが鎮まる場所で、かんたんにいえば神さまのお家です。

Q 神社のお祭りでは何をしているの？

A 神さまに、地域の人が今年も集えたことをお知らせし、海士町で生活できることを感謝するとともに、これからも健康で衣食住に不自由がないようお祈りします。また、お米、お酒、魚介類、農作物、果物、お菓子などを神前に並べ、舞や楽を披露して神さまをおもてなします。

平成22年の厄年

男		
前厄	本厄	後厄
(昭和62年生) 24歳	(昭和61年生) 25歳	(昭和60年生) 26歳
(昭和45年生) 41歳	(昭和44年生) 42歳	(昭和43年生) 43歳
(昭和26年生) 60歳	(昭和25年生) 61歳	(昭和24年生) 62歳
女		
(平成5年生) 18歳	(平成4年生) 19歳	(平成3年生) 20歳
(昭和54年生) 32歳	(昭和53年生) 33歳	(昭和52年生) 34歳
(昭和50年生) 36歳	(昭和49年生) 37歳	(昭和48年生) 38歳
(昭和26年生) 60歳	(昭和25年生) 61歳	(昭和24年生) 62歳

◆厄年は、古くから人生の節目や体調の変わり目にあたる年齢とされています。社会の様々な役を受け持つ、就職、結婚、出産、家の購入など、大きな節目の方も多いのではないのでしょうか。この大事な歳を元気に乗り越えるために、神さまのご加護を戴くのが厄祓いのご祈祷です。なお、日本古来の数え年の年齢です。

Q どの神社にお参りすれば一番「利益があるの？」

A いろいろな紹介もありますが、神社と氏子・崇敬者の関わりから説けば、まず自分たちを見守ってくれている地区の氏神様など地元海士町での「祈

願がもっとも道理にかなっており縁起が良く、「利益がある」といえます。隠岐神社では、事業所・団体・クラブ・同好会や個人の安全祈願、事業成功、家内安全、厄除、病氣平癒、学業成就、縁結びなどの諸祈願を行っています。



携帯から
今すぐアクセス!!



<http://mobi.omiyaokids.com/>

神社本庁ではモバイルサイトを立ち上げました。のし袋はどう書けばいいの? おふだやお守り、たくさん受けてもいいの? といったさの場で直ぐに知りたい情報や、神社神道に関する事柄を紹介しています。ぜひご覧ください。

●携帯サイト「神社モバイル」
<http://mobi.omiyaokids.com>
●パソコンサイト
<http://jinjahoncho.or.jp>